

長野県水道ビジョンの策定について

長野県 環境部 水大気環境課

1 水道の現状と課題

- ・本県の水道は、平成 25 年度末現在 98.9%まで普及し、県民生活に不可欠となった。
- ・その一方で、人口減少による給水収益の減少、施設の老朽化による更新需要の増大により、事業経営は困難な状況になることが見込まれている。
- ・市町村数が多いことから、事業者数が多く、規模が小さい。また、山間地が多いため、施設配置が非効率となる。
- ・さらに、大規模災害に備えた施設の耐震化や危機管理体制の強化、未普及地域の飲料水衛生対策、水源汚染リスクの多様化、利用者の要求水質の高度化や料金への関心の高まり等、取り組むべき課題が山積している。



- ・水道事業者単独では乗り越えられない課題（財政問題、技術基盤、人材確保等）には、発展的広域化等による市町村界を超えた対応が求められる。
- ・本県は小規模な町村水道事業者が多く、職員数が少なく日常業務で手いっぱいとなり、自らの将来を見据えた検討ができない状況にある。

2 県の役割

- ・発展的広域化等に向けて、水道事業者の検討を促し、広域的な視点から調整する必要がある。
- ・特に小規模水道事業者に対し、将来へ向けた取組の検討を促す必要がある。

⇒県内水道の目指すべき方向性と実現方策、連携策等について示し、県水道関係者の共通取組指針となる「長野県水道ビジョン」の策定

3 ビジョンの位置づけ

- ・国が平成 25 年 3 月に公表した「新水道ビジョン」「都道府県水道ビジョン」
- ・昭和 55 年策定の「長野県水道整備基本構想」の全面的改定

4 ビジョン策定のねらい

- ・将来にわたる水道水の安定供給による県民福祉の維持向上
- ・県内水道関係者の施策、事業展開の共通指針としての活用
- ・県、市町村水道行政部局、市町村等水道事業者、民間水道関係企業、その他関係者の連携協働の促進
- ・策定後の具体的施策に応じて、必要な財政支援等について国への要望を展開

5 ビジョンの構成（案）

(1) ビジョン策定の趣旨

策定の背景、各種計画上の位置づけ、ビジョンの役割

(2) 圏域区分の設定

将来に向けた事業者間の意識の共有や連携策の検討を促進しやすい圏域の設定

(3) 現状と将来の事業環境（全体・各圏域）

長野県の水道の現状把握と将来予測

(4) 現状分析と評価、課題の抽出（全体・各圏域）

水道が持つべき3要素「持続」「安全」「強靱」の視点から評価を行い、課題を抽出する。

(5) 目標設定とその実現方策等（全体・各圏域）

圏域毎の課題とその解決方法について、具体的な検討を行うための方向性を提示し、平成38年度（10年後）における目標設定、実現方策、スケジュール等を示す。

(6) フォローアップ

PDCA サイクルによるフォローアップ

6 検討方法

(1) 検討委員会

公正かつ専門的な見地から、水道ビジョン策定に伴う検討事項について意見をいただく。

(2) 地域検討会

圏域を単位とした地域検討会を置き、市町村の意見を反映させる。

構成員：市町村及び県関係機関

(3) パブリックコメント

原案策定後に、県民等から広く意見を募集し、ビジョンの内容へ反映させる。

7 策定時期

平成29年3月

水道ビジョンに係る制度的変遷と内容について

年度	国	県	事業者(市町村、広域事業者)
S55		<p style="text-align: center;">○水道整備基本構想 (S53水道課長通知)</p> <p>【趣旨】「拡張」「整備」※ ・水需要の均衡、安定確保 ・未普及地域の解消 ・広域的な水道の整備の方針 ※ハード面を主眼</p> <p>【内容】 ①水道の現況 ②圏域の区分 ③需要と供給の見通し ④水道整備の基本方針 ⑤整備の推進方策 ⑥年次計画</p>	
H17	<p style="text-align: center;">○国の水道ビジョン</p> <p>【趣旨】「将来を見据えた水道の発展」 ・世界のトップランナーとしての日本 ・よりハイレベルな水道へ</p> <p>【内容】 ・「安心」「安定」「持続」「環境」「国際」の5つの主要施策を設定 ・日本の水道が目指すべき姿を提示し、関係者の取組を促進</p>		<p>実際に事業を行う事業者が、水道ビジョンを受けてそれぞれのビジョンを策定する</p> <p style="text-align: center;">○地域水道ビジョン (H17水道課長通知)</p> <p>【趣旨】 「安心」「安定」「持続」「環境」「国際」の5つの柱について、事業者が目指すべき将来像を定め、実現方策を示す。</p> <p>【内容】 ①事業の現況分析評価 ②将来像の設定 ③目標の設定 ④実現方策の検討</p>
H20	<p style="text-align: center;">○国の水道ビジョン(改定)</p> <p>H17水道ビジョンの施策の進捗状況をレビューし、さらに取組強化を目指す</p>	<p>水道整備基本構想に、水道ビジョンに記載すべき事項を追加した、「都道府県版の地域水道ビジョン」を策定する。</p> <p style="text-align: right;">(H20水道課長通知)</p>	
H25	<p style="text-align: center;">○国の新水道ビジョン (水道ビジョンの全面的見直し)</p> <p>【見直しの契機】 ・人口減少時代に入 ・東日本大震災を踏まえた災害対策の見直し</p> <p>【趣旨】 ・人口減少を前提とした施策への転換 ・防災、危機管理対策の強化</p> <p>【内容】 ・「安心」「強靱」「持続」という3つの水道の理想像を提示 ・理想像の実現方策と役割分担 ・関係者に「連携」と「挑戦」を求める</p> <p>○H26.3.19厚生労働省健康局水道課長通知 国の水道ビジョンを踏まえ、各都道府県において「都道府県水道ビジョン」を策定するよう要請</p>	<p>「都道府県水道ビジョン」を策定し、事業者が行うべき取組を支援し、リーダーシップを発揮する。 ・事業統合、財政問題、技術基盤、人材確保など、個々の水道事業者では乗り越えられない課題の解決において、調整役としての役割を行う。</p> <p style="text-align: center;">○都道府県水道ビジョン (H25水道課長通知) (H20通知は廃止)</p> <p>【趣旨】「維持」「持続的経営」※ 水道関係者が広域的に連携し、将来にわたって持続可能な水道の供給基盤を都道府県単位で確立する。 ※ソフト面を主眼</p> <p>【内容】 ①一般概況 ②水道の概況 ③圏域区分の設定 ④給水量の実績と水需給の見通し ⑤現状分析と課題の抽出 ⑥将来目標の設定とその実現方策</p>	<p>・水道用水供給事業者は広域水道事業として地域のニーズに合った水道事業ビジョンを策定し、受水団体を支援する。 ・大規模水道事業者は周辺の中小事業者を支援する役割を意識した水道事業ビジョンを策定し、都道府県と連携しながら地域を牽引する。 ・中小規模水道事業者は、地域間での連携を図りつつ、まずは水道事業ビジョンの策定に取り組み、体制強化を図る。</p> <p style="text-align: center;">○水道事業ビジョン (H25水道課長通知) (H17通知は廃止)</p> <p>【趣旨】 「持続」「安全」「強靱」の観点からの課題抽出や推進方策を具体的に示すとともに、その取り組みの推進を図るための体制を確保する。</p> <p>【内容】 ①水道事業の現状評価と課題 ②将来の事業環境予測 ③地域の水道の理想像と目標設定 ④推進する実現方策 ⑤検討の進め方とフォローアップ</p>

長野県水道整備基本構想について

1 長野県水道整備基本構想について

- ◆ 県内を9圏域に区分し、昭和65年度(平成2年度)までに1市町村1水道事業に統合し、75年度(12年度)までに、広域化、管理の共同化を促進し、圏域内の事業経営の一元化を図るというもの。

(1) 策定期期 昭和55年3月

(2) 策定の目的

水資源の確保による水需要の均衡化、水道水の安全性の確保、水道事業経営の健全化と料金格差の是正、小規模水道の統合と維持管理体制の整備など、水道事業が当面している課題を解決し、長期的かつ広域的な視野に立って将来の水道整備の基本方針を明らかにした水道整備基本構想を策定したもの

(3) 基本的な考え方

① 圏域の設定

水道の広域的な整備を円滑に進めるため、県内を9圏域に区分

(上小、長野両広域市町村圏にまたがっている県営水道事業が経営されているため、この地域を1圏域とした。)

② 計画の目標年次

昭和65年度(平成2年度)を中間目標とし、最終目標年次を昭和75年(平成12年)とする。

③ 需給見通し

圏域ごとに目標年次までの水道水の需要予測を行うとともに、供給の見通しを立て長期的な水需要の均衡化を図る

④ 施設整備方針

- ・水道用水供給事業等により広域的な水道の整備を図る。
- ・小規模水道の整備統合、民営水道の公営化を促進し、1市町村1事業を指向する。
- ・管理センターの設置により、維持管理の共同化を図る。
- ・水道未普及地域の解消を図る。

(4) 見直しについて

平成12年度(最終目標年度)に第2次長野県水道整備基本構想の策定作業を行っていたが、平成13年2月の「脱ダム宣言」により、ダムの位置づけが不透明となり、水道水源について見通しが見つからないことから、第2次基本構想の策定を延期することとした。